

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和5年3月28日(2023.3.28)

【公開番号】特開2022-145905(P2022-145905A)

【公開日】令和4年10月4日(2022.10.4)

【年通号数】公開公報(特許)2022-182

【出願番号】特願2022-128021(P2022-128021)

【国際特許分類】

A 63 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 63 F 7/02 326 Z

【手続補正書】

【提出日】令和5年3月17日(2023.3.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技の進行を制御する遊技制御手段を備える遊技機であって、

前記遊技制御手段は、

前記遊技の進行を制御するためのプログラムを実行する演算手段と、

前記演算手段により実行される前記プログラムが記憶可能な記憶領域を有する記憶手段と、

を備え、

前記プログラムは、所定の動作を行う各種命令と、当該命令を実行するために必要なデータを含んで構成され、

前記各種命令は、前記プログラムによって定義された処理のうち、当該処理の識別情報を指定して実行可能な特定処理を呼び出し可能とする特定処理呼出命令を含み、

前記特定処理は、複数のモジュールによって構成され、

前記モジュールは、前記識別情報ごとに対応した処理であり、

前記複数のモジュールは、呼び出しもとの処理から入力値が指定される入力レジスタと、呼び出しもとの処理へ復帰する際に出力値が指定される出力レジスタの一方または両方が指定され、

前記複数のモジュールには、前記特定処理呼出命令による呼び出しもとの処理に復帰するための復帰命令を有し、

前記複数のモジュールのうち、少なくとも、一部のモジュールは、前記特定処理呼出命令による呼び出しもとの処理に復帰するための復帰命令を設けることなく、他の前記モジュールの復帰命令と共に用することで、前記特定処理呼出命令による呼び出しもとの処理に復帰可能とする

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

40

50

遊技の進行を制御する遊技制御手段を備える遊技機であつて、
前記遊技制御手段は、
前記遊技の進行を制御するためのプログラムを実行する演算手段と、
前記演算手段により実行される前記プログラムが記憶可能な記憶領域を有する記憶手段と、

を備え、
前記プログラムは、所定の動作を行う各種命令と、当該命令を実行するために必要なデータを含んで構成され、

前記各種命令は、前記プログラムによって定義された処理のうち、当該処理の識別情報を指定して実行可能な特定処理を呼び出し可能とする特定処理呼出命令を含み、

前記特定処理は、複数のモジュールによって構成され、
前記モジュールは、前記識別情報ごとに対応した処理であり、
前記複数のモジュールは、呼び出しもとの処理から入力値が指定される入力レジスタと、呼び出しもとの処理へ復帰する際に出力値が指定される出力レジスタの一方または両方が指定され、

前記複数のモジュールには、前記特定処理呼出命令による呼び出しもとの処理に復帰するための復帰命令を有し、

前記複数のモジュールのうち、少なくとも、一部のモジュールは、前記特定処理呼出命令による呼び出しもとの処理に復帰するための復帰命令を設けることなく、他の前記モジュールの復帰命令と共にすることで、前記特定処理呼出命令による呼び出しもとの処理に復帰可能とする

ことを特徴とする遊技機。

10

20

30

40

50